



会議参加者の集合写真

国際会議
『ILD meeting 2018』
2月20日から3日間、一関市でILCに関連する国際会議「ILD meeting 2018」が開催されました。この国際会議では、世界中からILD（※）に関する研究者など約70人が

今回は、ILC関係の国際会議と中学生科学体験研修についてお知らせします。



市が実現に向けて取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

希望のひかり 第52回

参加し、測定器の建設へ向けた技術的な課題を協議しました。

この国際会議は、平成26年に本市で開催されてから県内では4年ぶりの開催。国内外の研究者などによる意見交換のほか、鈴木厚人岩手県立大学長が東北の受け入れ態勢を説明しました。

参加した研究者へのおもてなしとして、県南広域振興局はILC絵画コンクルの応募作品を展示しました。会議に合わせて市国際交流協会では、参加した海外研究者の急病などに対応するための医療通訳体制を整えました。
ILC建設候補地に近い場所で開催された今回の「ILD meeting 2018」。その成果と

して、研究者の皆さんにこの土地の風土を感じていただけたこと、議論がより深まったことを期待しています。

※ILD:「International Large Detector」の略称で、ILCで使用する測定器。直訳で「国際大型測定器」のこと。高さは10倍以上、重さは1万ト以上に達する。ILCでは、ILDと「SiD (Silicon Detector)」の2種類の測定器を使用し、電子と陽電子の衝突現象を捉えヒッグス粒子などの性質に迫る。

中学生科学体験研修

市教育委員会は、中学生の科学に対する興味関心を高め、科学的な知識や科学的思考力等の資質・能力を向上させる



ILCの重要機器の前で説明を受ける生徒たち

とともに、次代の奥州市を担うリーダー的人材の育成を図



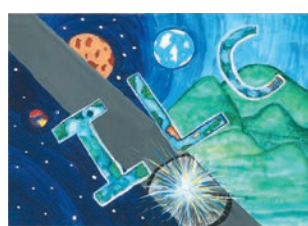
佳作
水沢南小学校6年 大平 桜 さん
「ILCで建物たくさん岩手県」
自然がたくさんな岩手県が、ILCで建物がたくさんな岩手県になったように描きました。



佳作
水沢小学校6年 佐藤 美良 さん
「ILCと見るみんなの未来」
目を描いて、その目がILCと宇宙を見るようにしました。目の中は、色とりどりに鮮やかにしました。



審査員特別賞
水沢南小学校6年 高橋 新 くん
「北上山地にILC」
紅葉の北上山地につくられるILCを表現しました。



審査員特別賞
水沢小学校6年 伊藤 心 さん
「世界を広げるILC」
背景をグラデーションに、宇宙は暗く山の方は薄くしました。トンネルからわざと光をはみ出させ、迫力を出しました。ILCの文字を地球にしました。

おうしゅうヒッグスつくんのILC絵画コンクール
市内入賞作品紹介 3



Road to 2018 いわて奥州 きらめきマラソン

たくさんの参加申し込み
数多くの協賛に感謝！



5月20日開催の第2回大会の情報を、5月まで毎月お届けします。

■問い合わせ＝いわて奥州きらめきマラソン実行委員会事務局（江刺総合支所・内線 334、335、336）

第2回大会の開催まであと2カ月。今回も県内外から非常にたくさんの参加申し込みをいただきました。45都道府県より4,500人を超えるランナーが奥州市に集います。また大会の運営を支えてくださる協賛には、前回の2倍を超える220の企業・団体からのお申し出をいただきました。

マラソン実行委員会では皆様のご期待にお応えできるように一丸となって頑張ります。奥州市全体で大会を盛り上げましょう！

大会アンバサダー
那須川 瑞穂 さん

参加者総数 4,579 人

内訳【フルマラソン2,726人、10キロ1,006人、2キロ（個人）269人、2キロ（家族）289組】

協賛企業・団体数 220 件

※上記はすべて速報値

みんなで盛り上げよう！

最新情報はこちらから
ホームページをCHECK！

■大会HPアドレス <http://oshukirameki.jp>
※市公式サイトのパナーからもアクセス可能

きらめきマラソン 検索

いわて奥州きらめきマラソンは5月20日開催

地域6次産業化— 育てよう元気の芽

地元の農林畜産物などを活用し、農業と他産業が連携して進める地域6次産業化。新たな製品やサービスを生み出そうというこの取り組みの最新情報を皆さんにお知らせします。



2.3 奥州 食の黄金文化祭2018 おやつフェスティバル

第4回となる今回は、38店が出店。市産食材を使ったお菓子や軽食が販売されたほか、キャラクター握手会などのイベントが来場者を楽しませました。



1 体験コーナーではパフェづくりを体験 2 キャラクターと記念撮影 3 おやつだけでなく軽食も充実 4 こだわりの商品を多くの来場者が買い求めた



1 体験コーナーではパフェづくりを体験 2 キャラクターと記念撮影 3 おやつだけでなく軽食も充実 4 こだわりの商品を多くの来場者が買い求めた

2.17 食の黄金文化 奥州料理コンクール

市産食材のPRと次代の料理人育成を目的とする本コンクール。第6回のテーマは「前沢牛または奥州牛をメインに使う新感覚の鍋料理」です。

水沢第一高等学校で行われた最終審査会には10人が出場。その後、表彰レセプションと試食会がブラザイン水沢で行われました。



▲最優秀賞に輝いた北海道三笠高等学校3年の得由菜菜さんと作品の「牛、とまらない。奥州好き焼き鍋」
▶コンクール参加者
▲試食会では10種の鍋を堪能